

三井情報、Databricks の「Silver Tier」パートナーに認定 - 企業におけるデータの活用をネクストステージへ -

三井情報株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:真野 雄司、以下 三井情報)は、データ&AI 企業である Databricks(以下 データブリックス)のパートナープログラム(以下 本パートナープログラム)において、「Silver Tier」パートナーに認定(以下 本認定)されました。「Silver Tier」は技術力と導入実績をもつパートナーのみが取得できる資格です。三井情報は、お客様のデータ活用を支える基盤構築に加え、分散したデータの統合・可視化・分析を通じて、業務・意思決定の高度化に貢献します。

■データブリックスの「Silver Tier」パートナーとは

本パートナープログラムにおいて、導入実績や認定資格保有者数、顧客支援の成果などの客観的な評価指標に基づき認定されるパートナーレベルの一つです。本パートナープログラムでは、パートナー企業は実績や専門性に応じて複数のティアに区分されており、「Silver Tier」は一定の技術力とプロジェクト遂行能力を有する企業であることを示す認定レベルと位置付けられています。

本認定は、データ基盤構築や AI 活用プロジェクトにおける実装力・提案力、顧客価値創出への貢献が評価基準を満たしていることを示すものです。認定パートナーには、技術トレーニングや共同提案支援、マーケティングプログラムなどの各種支援が提供されており、これらの支援を通じて、お客様のデータや AI の活用をより効果的かつ迅速に推進できる体制の強化が可能となります。

■これまでの実績 - 三井物産のデータ処理時間も大幅短縮 -

三井情報は、2023 年より本パートナープログラムに参加して以来、データブリックスを活用したデータの基盤整備や活用支援を多数手がけてきました。データマネジメントプラットフォーム(*1)の構築に加え、既存のデータウェアハウスやデータレイクとの統合まで、幅広いプロジェクトを支援してきた実績があります。なかでも三井物産株式会社とのプロジェクトでは、データブリックスを活用することでデータの処理時間を約 10 時間から 87 分へと大幅に短縮し、業務効率化に大きく貢献しました。

また、近年急速に注目が高まる RAG(*2)をはじめとする非構造化データ活用基盤の構築にも取り組んでおり、生成 AI 時代に向けたデータ活用の高度化支援も実績を積み重ねています。さらに、データの可視化・分析・予測モデルの構築といった幅広いデータ活用支援も継続的に拡大しており、お客様のデータドリブン経営の推進に貢献しています。

■技術力・推進体制の強化 - 「Champion of the Year」も輩出 -

三井情報では、データブリックスの認定技術資格の取得を組織的に推進し、継続的な技術力の底上げを図っています。資格保有者数は着実に増加しており、5 分野 7 資格あるうちの技術資格最高位の「Champion(*3)」保有者を中心に高度な実装力を維持・強化しています。2024 年度には中でもトップ技術者のみに贈られる称号「Champion of the Year」を受賞した技術者も輩出しました。

■今後の取り組みについて

三井情報は今後、企業におけるデータ活用の高度化に向けて、データの統合基盤構築にとどまらず、可視化・分析、さらには業務活用や AI 活用までを一気通貫で支援できる体制の強化を推進します。Databricks の活用はもちろん、三井情報が取り扱う各種ソリューションとの組み合わせによる最適な提案により、お客様のデータドリブン経営の

実現に貢献していきます。

また、既存のお客様に対してもデータ活用の高度化や適用領域の拡大を支援し、継続的な価値創出につなげてまいります。

■データブリックス日本法人 データブリックス・ジャパン株式会社 代表取締役社長 笹 俊文様のコメント

三井情報株式会社が当社パートナープログラムにおいて「Silver Tier」に認定されたことを大変嬉しく思います。三井情報は、データ基盤構築から高度なデータ活用支援まで幅広い実績と高い技術力を有しており、日本企業のデータドリブン経営の推進に大きく貢献してきました。

今後も両社の連携をさらに強化し、データブリックスのプラットフォームを通じて、企業におけるデータ活用の高度化や AI 活用の加速を支援してまいります。三井情報との協業を通じて、日本市場におけるデータと AI の価値創出とともに推進していくことを期待しています。

(*1) データマネジメントプラットフォーム (Data Management Platform: DMP) とは、企業が保有するさまざまなデータを一元的に管理・統合し、可視化や分析、業務での活用を可能にするデータ基盤です。

(*2) RAG (Retrieval-Augmented Generation) とは、企業が保有するデータを検索・参照しながら生成 AI が回答を生成する仕組みで、より正確で文脈に即した情報提供を可能にする技術です。

(*3) データブリックスが認定する「Champion」は、データと AI の領域で重要な貢献を果たすトップ技術者に贈られる称号です。

以上

【関連ページ】

Databricks 製品ページ: <https://www.mki.co.jp/lp/data-solution/databricks.html>

データブリックスから「APJ Partner Champion of the Year」を受賞: <https://www.mki.co.jp/news/corporate/20240617-1.html>

【三井情報株式会社について】

三井情報株式会社 (MKI) は、『ナレッジをつなぐ、未来をつくる』をパーパスに掲げ、ICT を基軸とした事業を通じて、社会やお客様の課題解決に取り組んでいます。第八次中期経営計画においては、「進化」と「コラボレーション」を通じて「残すに値する未来」を築くことをあり姿とし、これまで培ってきた技術や知見を活かしながら、ステークホルダーと共に新たな価値の創出に取り組んでいます。

ホームページ: <https://www.mki.co.jp/>

※三井情報、MKI 及びロゴは三井情報株式会社の商標または登録商標です。

※本リリースに記載されているその他の社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

【報道関係者からのお問い合わせ先】

三井情報株式会社
広報・ブランディング推進室
TEL : 03-6376-1008
E-mail : press-dg@mki.co.jp

【本製品サービスに関するお問い合わせ先】

三井情報株式会社
営業統括本部 マーケット統括部 第一営業室
データマネジメント担当
E-mail : idpbiz-dg@mki.co.jp